

あの人この人

農業の道、一筋に



中根徳一さん (勝沢町)

この夏の徳一さんの一日は、朝4時30分から1反5畝(約15a)の畑で栽培している茄子の収穫から始まります。「時間が経つとボケなすになっちゃうからね」(笑)

中根徳一さんは、昭和26年2月15日に勝沢町で生まれました。農業学校を卒業後、家業の中根牧場(酪農)を父と共に経営し、その後、畜産が専門であったので、28歳の時に肉牛に変更しました。小坂子町の畜産団地の立ち上げに参画し、50歳まで肉牛を200頭余り飼育。365日、餌やりなどで休みなしの毎日でした。その頃は、年に何回か、牛の買い付けで日本中を旅したそうです。部屋の一角には品評会で賞をとったトロフィーや賞状が掲げられています。徳一さんは「肉牛は競りに出すと乱高下が激しく、博打のようなものだよ。だから今回駄目でも次こそはとなって赤字になってもそこか

ら抜け出せないんだ」と当時を振り返ります。妻の優子さんは「まだ小さかった娘が『お父さん、農業は大変だから止めたら』と言うと『農業が大好きだから止めないよ』と答えたそうです。『それじゃ仕方がないね』と。牛を育てることに子どもと同じように愛情を注いでいたのでしょう」と話してくださいました。50歳の時に畜産農家から野菜栽培農家に転身し、牛と同様に愛情を込めて育てています。

若い頃は青年団で活動し、前橋全域の仲間と飲んで親睦を図ったそうです。その頃、青年団で知り合った妻の優子さんを見初め結婚。また、消防団活動では、第8分団1部(勝沢、嶺、金丸)に16年間在籍し、ポンプ操法などを学んだそうです。「今はなかなか入団者がいないので入るといいのにな」と。

現在は、芳賀地区の農業委員をサポートする農地利用最適化推進委員の一人に任命され、年6回程度の研修に参加し、業務の内容を学んだり、他地区の委員と情報交換をしているそうです。勝沢町では、勝城神社の氏子総代として、年4回の祭典や初詣の裏方を仕切り、勝沢町ゴルフ愛好会の会長として、交流親睦を図って、町を盛上げています。

農家として、野菜作りに専念する中で、やはり後継者不足と耕作放棄地の増大、地球温暖化に頭を痛めていると話されていました。農業は日々の天候に左右されて、忙しい毎日ですが、徳一さんは、妻の優子さん、母で95歳のきみさんと助け合いながら仲よく過ごしています。

畜産から野菜の栽培農家と、農業一筋の徳一さんは、自分には農業しか道がないからと話されていましたが、土に対する温かい眼差しと愛情と誇りがあったからこそその生き方なのではないかと思いました。

文責 勝沢町生涯学習奨励員 中山 洋子

前橋市立図書館芳賀分館だより

あたりしく入った本の紹介

一般書

- | | |
|-----------------|---------|
| 未来 | 湊かなえ |
| 送り火 | 高橋 弘希 |
| 下町ロケット ゴースト | 池井戸 潤 |
| 天子蒙塵 第3巻 | 浅田 次郎 |
| むすびつき「しゃばけ」シリーズ | 畠中 恵 |
| 焦土の刑事 | 堂場 瞬一 |
| 師弟の祈り(僕僕先生) | 仁木 英之 |
| 火花散る(おいち不思議がたり) | あさの あつこ |

児童書・絵本

- ざんねんないきもの事典 続々
- ざんねんな歴史人物
- ハープ魔女とふしぎななぎ(魔法の庭ものがたり)
- キヤベたまんたい大ピンチ!ミクロのぼうけん
- 魔天使マテリアル 25
- ミオととなりのマーメイド 3
- ようかいえんのばけくらべ
- くほかにもたくさん新刊が入りました



★「戦争と平和を考えるコーナー」では、児童書を中心に50冊を揃えています。

◆市立図書館、こども図書館、各分館で所蔵する本やCD等は、どこの館でも借りたり返したりすることが出来ます。

◆各分館に利用者開放端末機(OPAC)が設置されており、本館・分館・こども図書館の所蔵資料の検索などが出来ます。